



沖縄県恩納村

# 議会だより

No.168

令和8年5月29日  
発行

うんま

恩納村で**頑張る**  
恩納村漁業協同組合の皆様



恩納村  
キャラクター  
さんな  
Sunnaちゃん



地元の海を知り尽くした漁師たちが、新鮮で安全な海産物を届けるだけでなく、環境保全や地域の伝統も大切に守り続けています。



海を守り育てる海人(漁師)

## 目次

- 恩納村漁業協同組合 ..... P1
- 議決結果一覧 ..... P2
- 陳情第1号委員長報告 ..... P3
- 予算説明・注目事業 ..... P4~P5
- 一般質問目次 ..... P6
- 一般質問 ..... P7~P20
- 村民の声・議会活動報告 ..... P21
- 議会の動き・議長挨拶 ..... P22

記事担当: 新城 哲

## 令和8年第2回恩納村議会定例会 議決結果一覧

議案番号	件名	議決日	議決の結果
議案第7号	恩納村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	3月10日	原案可決
議案第8号	恩納村附属機関設置条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第9号	恩納村課設置条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第10号	恩納村議会委員会条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第11号	恩納村立幼稚園の廃園に伴う関係条例の整備に関する条例について	3月23日	原案可決
議案第12号	恩納村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第13号	恩納村子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第14号	恩納村営住宅の設置及び管理条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第15号	恩納村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決
議案第16号	恩納村犯罪被害者等支援条例の制定について	3月23日	原案可決
議案第17号	恩納村納骨堂の設置及び管理に関する条例の制定について	3月23日	原案可決
議案第18号	恩納村教育支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	3月23日	原案可決
議案第19号	令和7年度恩納村一般会計補正予算(第8号)について	3月10日	原案可決
議案第20号	令和7年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	3月10日	原案可決
議案第21号	令和7年度恩納村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	3月10日	原案可決
議案第22号	令和7年度恩納村下水道事業会計補正予算(第4号)について	3月10日	原案可決
議案第23号	令和7年度恩納村水道事業会計補正予算(第2号)について	3月10日	原案可決
議案第24号	令和8年度恩納村一般会計予算について	3月25日	原案可決
議案第25号	令和8年度恩納村国民健康保険特別会計予算について	3月25日	原案可決
議案第26号	令和8年度恩納村後期高齢者医療特別会計予算について	3月25日	原案可決
議案第27号	令和8年度恩納村下水道事業会計予算について	3月25日	原案可決
議案第28号	令和8年度恩納村水道事業会計予算について	3月25日	原案可決
議案第29号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	3月4日	同意(全会一致)
議案第30号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	3月4日	同意(全会一致)
議案第31号	当袋川改修工事請負契約の一部変更について	3月4日	原案可決
議案第32号	恩納村診療所の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第33号	恩納村多目的交流施設の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第34号	恩納村多目的施設の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第35号	恩納村交流施設の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第36号	恩納村自治公民館の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第37号	恩納村立公民館の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第38号	恩納村立学習等供用施設の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第39号	喜瀬武原多目的ホール施設の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第40号	恩納村体育施設の指定管理者の指定について	3月23日	原案可決
議案第41号	野原地区畑かん施設布設替工事(R7)請負契約の一部変更について	3月10日	原案可決
議案第42号	令和7年度恩納村一般会計補正予算(第9号)について	3月23日	原案可決
議案第43号	令和7年度恩納村一般会計補正予算(第10号)について	3月25日	原案可決
報告第1号	恩納村庁舎改修工事(第I期機械工事)の専決処分の報告について	3月4日	報告
報告第2号	恩納村庁舎改修工事(第I期電気工事)の専決処分の報告について	3月4日	報告
報告第3号	令和8年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	3月4日	報告
陳情第1号	SDGs未来都市の実現に向けた村施策の実施に関する要請	3月23日	採 択
議発第3号	専決事項の指定についての一部を改正する指定について	3月23日	原案可決
	議員派遣の件	3月4日・25日	決 定

## SDGs未来都市の実現に向けた村施策の実施に関する要請について 経済建設民生委員会委員長報告

委員長 比嘉 秀 康

本委員会は、令和8年3月4日の本会議において付託された陳情について、5日、全委員出席のもと委員会を開催し、参考人として関係課長に出席を求め、審査を行いました。その経緯と結果を報告します。

### 【陳情の概要】

本陳情は、陳情者である恩納村漁業協同組合 代表理事組合長 金城治樹氏から令和7年12月22日付けで陳情書が提出され、恩納村議会陳情第1号として受理したものです。

陳情の趣旨は、生産基盤施設の老朽化や資材価格の高騰、サンゴの白化等の環境変化により、水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、生産者側の負担は一層増大することが懸念され、恩納村ブランドの維持及びSDGsに資する海藻養殖の安定生産・安定供給の継続が極めて厳しい困難な状況となりつつあります。つきましては、令和8年度における水産施策の推進にあたり、今般の社会情勢を十分にご考慮いただき、特段のご配慮を賜りますよう強く要請するものであります。

### 【質疑応答】

委員より「新規事業者に対する支援策はどのようになっているのか。」との質疑に対し、担当課長より「漁協より価格高騰により漁業資材を買い揃えることが経済的な負担となっていると伺い、その支援策として水産事業奨励補助金を活用し、漁協の組合員となり生産部会に加入した新規の漁業就労者に対し、上限50万円の補助を行うこととし、令和8年度予算に計上している。」と説明がありました。

委員から、「海ぶどう生産について、施設整備以外に増産に向けた戦略的な計画等はあるのか。」との質疑に対し、担当課長より「現在、全県的に海ぶどうの生育不良が続いており、沖縄県の水産試験場やOIST、村漁協が一緒になって原因究明に取り組んでいる。村としてはその結果を受けて、可能な対応策を検討したい。例えばその原因が、海水温の上昇によるものであれば、既存の取水管を延長するなどの対策を図ってまいりたい。」と説明がありました。

委員より、「生産者の生活も掛かっており、原因究明には時間を要すると思われる為、村としても企業等含めた幅広い情報収集など一体となって取り組んでいただきたい。」と意見がありました。

担当課長より「里海づくりなど陸域からの活動も含め、引き続き関係部署と連携を図ってまいりたい。」と説明がありました。

### 【審査結果】

採決の結果、出席した全委員の賛成により採択すべきものと決定しました。

以上、会議規則第41条の規定による委員会審査の経過及び結果の報告をいたします。

**一般会計予算**  
**128億9,879万4千円**  
 対前年度比 18億4,158万7千円  
 (12.5%)の減

**自主財源**  
**79億1,649万6千円**  
 (61.4%)

**依存財源**  
**49億8,229万8千円**  
 (38.6%)



●歳入歳出総額：128億9,879万4千円(対前年度比18億4,158万7千円(12.5%)の減。  
 ※予算の内訳として、自主財源79億1,649万6千円(予算全体に占める割合61.4%)で、対前年度比3億1,874万2千円の減。  
 依存財源49億8,229万8千円(予算全体に占める割合は38.6%)で、対前年度比15億2,284万5千円の減。

## ■歳入・歳出に関する質疑

- 質** 万座毛周辺活性化施設観覧料の村民の割引や免除の検討は。
- 答** 割引等を導入した場合、徴収等の事務作業が煩雑になるため、現在は検討していない。
- 質** 利子および配当金1,473万4千円について、前年度と比較して増になった要因は。
- 答** 預金利息が0.002%だったものが令和7年度から0.125%に上がったためである。定期預金で運用している。
- 提** 定期預金のリスクも考慮し、今後は国債や地方債などの活用・運用に取り組んでもらいたい。
- 質** 恩納村三世代同近居支援事業補助金について、事業の概要は。
- 答** 親世帯が5年以上住民登録され、子供世帯は子供と18歳未満の子が村内に引っ越しする際に補助金を交付する。住宅取得の場合、同居が100万円、近居は80万円で、近居の取り扱いについては村内全域対象である。また賃借費用については30万円の補助、引っ越し費用については県外から転入は10万円、県内から転入は5万円を補助する。
- 質** オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業1,000万円について、事業の概要は。
- 答** 主に真栄田岬周辺で発生している交通渋滞やサンゴの踏みつぶしなど過重な観光客の受入れやそれに伴う環境悪化の課題がある。エコツーリズム推進法の事業補助金を活用しながら、地元を含めた関係団体と協議し、オーバーツーリズムの課題解決に向けた取り組みを行う。
- 質** まちなか留学委託料240万1千円について、事業の詳細は。
- 答** 村内在住の小学生高学年から高校生を対象に、県内在住の外国人家庭に2泊3日のホームステイを体験させる取り組みである。また小学生低学年については日帰りの体験ができないか、調整中である。専門の業者が外国人家庭の情報を確認し、受け入れ先を手配してもらうための委託料である。

## ■特別会計予算

歳入・歳出	
国民健康保険	15億6,324万2千円
後期高齢者医療	1億6,853万1千円

## ■下水道事業会計予算

下水道事業収益	4億6,297万1千円	下水道事業費用	4億5,130万5千円
資本的収入	8億6,335万1千円	資本的支出	9億858万3千円

## ■水道事業会計予算

水道事業収益	10億1,776万7千円	水道事業費用	9億5,051万1千円
資本的収入	1億7,800万3千円	資本的支出	3億270万4千円

記事担当：比嘉 秀康



# 令和8年度の注目事業



## 恩納村三世代同居支援事業

村外在住の子育て世帯が村内で親世帯と同居・近居する際の住宅取得・賃貸・引越費用を補助し、村内在住世帯は住宅の新築・購入のみ対象とする事業です。



## 恩納村民間賃貸住宅建設助成事業

恩納村への定住人口増加を目的に、村内でファミリー向け(2LDK・3LDK)の民間賃貸住宅を新築する個人・法人に対し、建設費の一部を助成する事業です。



## 病児保育事業 (オリーブこども園)

病児保育事業は、病気や病後で家庭での保育が困難な子どもを対象に、医療機関や保育所に併設された専用室で看護師等と保育士が安全に一時預かりを行う支援事業です。



## 障がい者移動支援事業

単独外出が困難な障がい者(児)が、買い物や余暇活動など地域生活に必要な外出を行う際、ヘルパーが付き添い移動介助や見守りを行う地域生活支援事業です。



## 恩納校学童環境整備工事

恩納幼稚園閉園後の空き教室を改装し、学童あかんちゃ学校の受け入れ人数を拡充して学童保育環境の充実を図る事業です。



## 教育支援センター事業

小中学校に登校できていない児童生徒の「居場所の確保」と「学習・体験保障」を図り、義務教育修了後の進学・就労につなげ、引きこもり状態を防ぐために設置する事業です。



## 谷茶区定住促進事業用地造成工事

村内に不足する住宅用地の確保をはじめ、商業施設等整備用地の造成を行い、地域活性化及び村民の利便性向上を目的とした事業です。



## オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業

真栄田岬の課題解決と持続可能で高付加価値な海洋観光の推進に向け、恩納村のSDGs計画に沿って地域の多様な関係者による協議会を開催し、具体的な方策を検討し推進する事業です。



## 喜瀬武原校跡地グランドフェンス設置工事

農家や通行者の安全確保を目的に、飛球による事故を防止するための防球ネット(延長174m・高さ5m)を設置する工事であり、農作業環境と通行の安全性向上を図る事業です。



## 前兼久漁港観光関連施設整備工事

観光客の受入体制強化と漁港利用者の利便性向上を図るため、休憩所・事務所・シャワー・トイレを備えた管理棟の建設など、必要な施設整備を行う事業です。

## 令和8年第2回定例会一般質問 (3月11日)

當山 直彦 議員 P7

- ① 地域総ぐるみによる子供の安全安心ネットワークの構築について
- ② 誰もが住み続けられる恩納村の住環境整備について

佐渡山 明 議員 P8

- ① 恩納村施設型共同墓(村納骨堂)について伺う
- ② 「恩納村教育支援センター」の設置について伺う

當山 達彦 議員 P9

- ① 定住促進事業について
- ② 門前町構想について
- ③ 農業振興について
- ④ 水道事業について

喜納 正誠 議員 P10

- ① 物価対策について
- ② わった一村これから先(50年)どこに向いていくかについて
- ③ 宇加地区からの陳情について

亀谷 梢 議員 P11

- ① どう考える未来を担う子どもたち
- ② 恩納村独自支援より
- ③ 地産地消について
- ④ 観光と文化の融合・伝統文化保存

## 令和8年第2回定例会一般質問 (3月12日)

新城 哲 議員 P12

- ① 県道104号線について
- ② 子育て支援の充実について
- ③ 教育の充実について
- ④ 渋滞と今後の交通対策について
- ⑤ 農業の振興セグロウリミバエについて

安里 周作 議員 P13

- ① 農業の振興について
- ② 教育支援センターの設置について
- ③ 婚姻届について
- ④ 訪問介護閉鎖後の経緯について

宮崎 匠 議員 P14

- ① 村内在住の若者における高校卒業後のキャリア支援について
- ② 村内保育所及びこども園における紙オムツの無料配布について
- ③ 村内各漁港における放置等禁止区域の指定について
- ④ 今後、進んでいくと考えられる観光振興による乱開発に対する本村としての指針について

大城 節子 議員 P15

- ① 避難道路について
- ② インフルエンザの予防接種について
- ③ 文化財の整備について

比嘉 秀康 議員 P16

- ① ラーケーション制度の導入と課題
- ② 外国人児童生徒の受け入れ体制
- ③ 歴史の道「国頭方西海道」の維持管理体制の強化

## 令和8年第2回定例会一般質問(3月13日)

稲村 雅司 議員 P17

- ① 農業基盤強化に向けた畑地かんがい整備の現状について
- ② 鳥獣対策実施隊の持続可能な体制づくりについて
- ③ 児童生徒の通学時における安全対策と防犯体制の強化について

大城 保 議員 P18

- ① 学校給食について
- ② 前兼久漁港観光関連施設について

大城 堅三 議員 P19

- ① 住環境の整備について
- ② 住民自治の推進について
- ③ 財政基盤の強化について

島袋 裕介 議員 P20

- ① 公園の維持管理について
- ② 子育て支援について
- ③ 居場所づくりについて
- ④ 防災行政について

令和8年第4回(6月)恩納村議会定例会  
6月定例会は、6月3日(水)を予定しています。

※文字数の都合上、掲載していない質問があります。恩納村議会ホームページ(議会ネット中継)をご覧ください。



當山 直彦 議員

地域総ぐるみによる子供の安心安全ネットワークの構築について

**質** 特別な活動時間を設けることなく参加でき、日常の運転そのものが見守り活動となり、さらに不審者への心理的抑止効果も期待できる見守りステッカーの車両掲示について、その導入に関する当局の見解を伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛）  
地域全体での見守り体制は重要であり、見守りステッカーの取り組みは防犯意識向上や犯罪抑止効果が期待できる取り組みであると考えている。今後は警察や関係機関と連携し、他自治体の事例も参考に研究・検討していきたい。

**質** 見守りステッカーをテレビや新聞で周知し、安全な観光地として発信する考えはあるか。

**答** 商工観光課長（城野 正和）  
見守りの取り組みを村内外へ発信することは有効と認識しており、テレビや新聞での周知も有効な手段と考えているが、現時点で具体的な計画はない。今後は施策と連動させながら、安全・安心な観光地としての情報発信を進めていく。

**質** 行政や事業者、住民が連携する安全ネットワーク構築についての村長の見解は。

**答** 村長（長浜 善司）  
見守りステッカーや安全発信は有効と認識しており、今後は庁内や関係団体・事業者と意見交換を進めていく。

誰もが住み続けられる恩納村の住環境について

**質** 本村の住宅確保要配慮者の実態や相談件数、住宅困窮の把握状況と、現行および今後の支援策についての見解は。

**答** 建設課長（當山 国博）  
村営住宅の申し込みは毎年15〜20件程度で、今年度は20世帯が申請。内訳は

母子・父子家庭が最多で、次いで子育て世帯が多く、申請の大半をこれらの世帯が占めている。

**答** 福祉課長（石川 司）  
生活保護世帯は72世帯82人で保護率は7.28%と低く、住宅扶助受給は41世帯。申請20件中、保護決定は6件で、多くは所得制限により却下されている。課題として低家賃住宅の不足や入居拒否があり、今後は保証人確保や見守りなどの支援（ソフト面）と、低家賃住宅の確保（ハード面）の両方の対応が必要とされている。

**答** 定住促進室長（大城 保洋）  
現行は公営住宅の供給や住宅相談支援を実施。今後は空き家などの既存住宅の活用促進と民間事業者との連携強化が必要。

**質** 空き家活用や住宅確保要配慮者支援に特化した新たな制度導入や予算措置についての考えを伺う。

**答** 定住促進室長（大城 保洋）  
公営住宅整備や空き家活用補助で住まい確保を進めてきたほか、今後は子育て世帯向け賃貸住宅不足に対応するため、民間住宅建設への助成制度を創設予定。引き続き多様な世帯の住宅確保に向け施策を充実していく。

提

住環境整備に当たっては、まず地元住民が抱える課題について各課で認識を共有し、共通理解のもと役割分担を明確化した上で、横断的な連携体制により取り組みが重要である。あわせてターゲットを絞った小規模なモデル事業としての実施も検討されたい。住民が安心・安全に住み続けられる環境の整備は、観光地としての信頼性向上につながり、地域文化を観光資源として活用する基盤となる。これにより持続可能な観光が実現し、地域経済の安定という好循環が生まれると考える。観光振興と住環境の安定を両立させることは、地域の魅力発信にも資するものであり、当局におかれは、より一層の連携強化のもとでの取り組みを期待する。





佐渡山 明 議員

恩納村施設型共同墓(村納骨堂)について伺う

**質** 遺骨と位牌の両方を預かっていただけの納骨堂を村民が利用できるのは、いつ頃からでしょうか。

**答** 村民課長(山城達也) 村民課としては9月頃を想定して準備を進めている。

**質** 納骨堂の概要は。

**答** 村民課長(山城達也) 納骨堂の場所は、恩納村斎場に隣接している駐車場のところで、納骨壇と位牌壇、合葬室、参拝室の3施設で構成し、納骨壇は1体用を670基、2体用を300基、位牌壇を30基整備します。

**質** 位牌壇では、トートローマーや遺影、御香炉も含めて預かっていただけですか。

**答** 村民課長(山城達也)

位牌壇のサイズは、幅550ミリ、奥行き320ミリ、高さ550ミリで整備予定です。位牌壇に収まるものであれば、仏具一式を預かることは可能です。

**質** 納骨堂では位牌(トートローマー)

も預かることから、空き家の活用にも大きな効果をもたらします。子育て世帯などへ空き家を提供できる可能性が広がりました。村内には132件の空き家があります。そこで納骨堂を絡めた空き家活用の展開を伺う。

**答** 定住促進室長(大城保洋)

定住促進アンケート調査において、空き家に仏壇や位牌等が残されていることで、家屋の利活用が進まないケースもあります。納骨堂の供用開始を契機として位牌等の整理にもつながり、空き家活用の促進、さらには住宅の確保にもつながると考えています。



納骨堂完成イメージ

「恩納村教育支援センター」の設置について伺う

**質** 恩納村教育支援センターを設置し、学校に登校できない児童生徒の居場所の確保や、その後のひきこもり状態を防ぐためとありますが、この事業の目的を伺う。

**答** 学校教育課長(親泊誠)

児童生徒一人一人の状況に応じた学びと、安心して過ごせる居場所を確保することが重要であると考え、小中学校に登校できていない児童生徒の「居場所の確保」と「学習・体験保障」をすることにより、義務教育修了後の進学・就労につなぎ、引きこもりを防ぐことを目的としています。

**答** 福祉課長(石川司)

令和3年9月定例会で子どもの居場所支援事業については「今後、地域の実情を踏まえて検討していく」と答弁しました。今回、「恩納村教育支援センター」の設置に至ったのは、まさに地域の実情を踏まえての設置であると考えています。福祉課からの目的としては、不登校やひきこもり対策等の重要な支援と考えていて、成人してからのひきこもりは、時間も労力も費やし、家族への支援も長期にわたって関わる困難なケースになっています。子供の頃から支援を行

うことにより、学習の保障や社会とのつながりを構築させていくことが重要だと考え、福祉課からも支援センターの設置を提案しました。

**質** 沖縄県では平成28年頃から3人に

1人の子供が貧困状態にあると言われてきたことで、県内各地に「子どもの居場所」が開設されました。次年度に村が運営していく教育支援センターは、子どもの居場所としての位置づけでは拠点型、第3の居場所に当たります。子ども食堂や学習支援、生活習慣の形成などの支援を行っているのが一般的に言われている「子どもの居場所」ですが、今後、整備の予定はありますか。

**答** 福祉課長(石川司)

「子どもの居場所」については、次年度から開所される恩納村教育支援センターの運営状況を見ながら、教育委員会と連携し、保護者ニーズにも勘案しながら整備を進めていければと思います。





當山 達彦 議員

定住促進事業について

質 谷茶区定住促進事業の令和7年度の進捗状況を伺う。

答 定住促進室長（大城 保洋）

土地取得は全体計画地100筆のうち92筆を取得し、また1件1筆について、昨日売買契約の締結がなされました。

質 残り7筆に関して等価交換や用地をそのまま残し事業を進めていくのか。

答 定住促進室長（大城 保洋）

等価交換や事業計画地から除外を含め検討しています。

質 事業計画用地から除外の説明をお願いします。

答 定住促進室長（大城 保洋）

事業計画地からの除外とは、用地取得が困難な土地について事業区域から

外し、現状のままにしておくということとです。用地買収に賛同できない地権者に関しては分譲販売の資格はないと考えています。

質 説明会を行って地域の声を拾い上げる体制づくりが必要ではないかと思いますがどうお考えですか。

答 定住促進室長（大城 保洋）

地域の意見を伺うことができる環境づくりを推進していきます。

質 元地権者が土地を購入する場合の地域住民に対する特約事項はどのようなものがあるか伺う。

答 定住促進室長（大城 保洋）

一定期間内に住宅建築が行われないうちや無断譲渡があった場合に、村が買い戻すことができる仕組みを想定しており、具体的な条件については今後整理します。

質 定期期間内に住宅建築が行われない場合は何年をめどにしていくのか伺う。

答 定住促進室長（大城 保洋）

他市町村では10年ですけれども今後検討委員会で協議します。

門前町構想について

質 大学院大学に係る門前町構想に

関する要請決議を県へ提出したのですが、県担当課との調整はあったか伺う。

答 定住促進室長（大城 保洋）

県の担当課のみならず県の関係部局とも連携を図り、その整備経緯及び現場確認を含め調整を行っています。

質 門前町構想について、今後どのように進めていくのか具体的に伺う。

答 定住促進室長（大城 保洋）

定住促進事業の住宅地整備や商業施設についての取組を着実に推進することが門前町構想の実現につながり、その他周辺整備は県と連携し、住民との対話を通して地域周辺の環境の改善について検討し、今できるものから進めていくことが重要と考えています。

農業振興について

質 魅力ある農業を推進するために、村は思い切った助成が必要と思うが、村はどうお考えですか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

7年度は魅力ある農業を推進するために新たな助成制度のスマート農業技術導入支援事業補助金を創設し、各

種補助率の引上げも実施し、今後の農業支援策の拡充については、財政状況も踏まえながら検討したい。

水道事業について

質 11月に沖縄県企業局において断水の報道がありました。恩納村では影響があったか伺う。

答 上下水道課長（金城 正道）

昨年11月24日、大宜味村塩屋地内において沖縄県企業局が管理する水道管の老朽化のため漏水事故が発生しましたが本村への影響はありませんでした。

質 恩納村で断水が想定された場合、貯水タンクの水は何日間もつのか伺う。

答 上下水道課長（金城 正道）

全体の配水池では約1日分の貯水量は確保できる状況です。

質 恩納村ではその対策として貯水タンクを増設する計画はあるのか伺う。

答 上下水道課長（金城 正道）

新たな配水池建築計画は今のところありません。ただし令和15年度以降新たなリゾート開発等の計画により給水人口及び給水量の増加が見込まれる場合は新たな配水池整備を検討する必要がありますと考えています。



喜納 正誠 議員

物価対策について

**質** 物価高対策として水道料金を5月から半年間、基本料金を免除する旨の施策がありました。私の提案として令和8年5月から令和18年まで、約10年間無料化、免除すべきと思うが水道事業には歴史があって、大城保晴村長の頃の施策に、財源の苦しい村であっても、村民に協力をお願いされてきた。今、水のおかげで村の財政も豊かになりました。そこで、物価対策の一例として、水道料金の無料化、免除すべきと思うが。

**答** 上下水道課長（金城 正道）  
水道事業については、公営企業の健全経営の確保ということがまず強く求められております。水道事業独自の基本料金免除の実施は現在のところ考えておりません。

**質** 今、水を引いたおかげでホテルも盛んになり、村の財源も豊かになった。その恩恵を等しく村民に与えるべきじゃないかということからすれば、無償にしてもいいんじゃないかということをおもう政治判断で、ぜひ村長に答弁していただきたい。

**答** 村長（長浜 善口）  
現在、村内各所で漏水事故も頻繁に発生している。今後、こつこつとした整備も多くの予算が必要になってくること予想されます。今後も水道整備に充てることを念頭に入れなければならない。議員のおっしゃる免除は厳しいと考えています。

わったー村これから先（50年）どこに向いていくかについて

**質** これまでの約50年、観光産業を主として村の発展を確立してきた。しかし、この施策がいつまでも続くとは限らない。これから先の50年に向けて、まず戦略、施策があつてしかりと思う。といつことで近隣のうるま市石川地区との信頼関係に基づく姉妹都市の締結、協定を結ぶということをお提案したい。恩納村のメニューは新たなメニューが増えるショット

**答** 企画課長（喜久山 隆）  
恩納村にとりましては総合計画、総合戦略と10年計画があります。この石川地区、大型スーパーのない本村にとっては、やはり石川地区というところは商業施設や病院等が多く、特に恩納区以南の村民にとりましてはアクセスもよく生活圏となっているところは事実でございます。本村としては、相互利益の生まれる分野でどのように連携を図れるかというところを関係課で検討していきたいと考えています。



宇加地区からの陳情について

**質** アクセス道路の件の進捗。陳情は上げられども、どうなっているのか。まだ関係者との接触も、云々もないという話をきいたんですが、あれから一年になります。進捗状況をお聞かせください。

**答** 企画課長（喜久山 隆）  
読谷村との合意形成を図る必要性があるというところで答弁しました。担当課を通して読谷村の状況等、情報交換は行っているが、これといった進展は、今のところありません。

**質** 宇加地区民挙げてのお願いごとなんです。もっと汗をかいてやる気を起こしてやっていただけませんか。

**答** 企画課長（喜久山 隆）  
恩納村から軍用地をまたいで読谷村へ通過するということで、読谷村との合意形成というところが一番重要だと考えています。





亀谷 梢 議員

どう考える未来を担う子どもたち

**質** 「恩納村教育ビジョン」を策定して2年が経過しています。その成果と達成度を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

幼児教育と小学校教育は、プロジェクトにおいて福祉課と連携を図り推進してきました。小中学校は、自分で学習計画を立て、学びたい場所を選び、タブレット端末等を活用して、自分の課題に真剣に向き合う姿や友達と教え合う姿が見られ、ワクワク感にあふれた学びが実現されつつあります。

**質** 村長、教育長が考える恩納村の未来を担う子どもたちの未来像を伺う。

**答** 村長（長浜 善巳）

恩納村第6次総合計画の将来像である「恩の青豊かな緑輝く人々 未来

へつなごう恩納村」を目指し、大人だけがつないでいくものではなく、子どもたち自身も未来へつなごう主体者であると考えています。恩納村の子どもたちが、この豊かな自然と地域の中で育ち将来は恩納村の未来を担う人材となることを心から期待しています。

**答** 教育長（宜志富 清博）

子どもたちの将来像は自立、協働できる、新しいものをつくっていく創造の力を持ち、人生の主体者として、主人公として幸せに生きる人材でありませぬ。「恩納村全体で子どもを育てる」環境ができてつつあるのですが、その中で子どもたちが、未来の恩納村をよい村にしたいと願い、行動している大人と協働で、自らも地域社会に貢献していきたいという喜びを感じながら成長していくことを期待しています。

**質** 中学校において地域課題解決を目的とした「SDGsパートナーシッププロジェクト」（うんな魂）の成果を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

村役場の関係各課や地域団体、民間企業等が学校の学びの場に参画することで、教育活動を軸とした「産官学民連携」のネットワークが強化されていると考えています。卒業生が出てきたことで、地域や学校を題材にした学びの経験が、高校・大学での探究活動や

地域との関わり、また将来的なUターン意識につながるものが期待されています。

**質** 恩納村としてのラーケーションの導入計画はあるか伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

令和8年度中の導入に向けて検討しているところです。具体的には導入する場合の出席扱いの基準として、県立学校や与那原町と同様に欠席扱いとはならない、出席停止として認めるという方向で検討しています。

地産地消について

**質** 恩納村地産地消推進計画における地域共同売店等の位置づけは。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

恩納村地産地消推進計画において、地域共同売店等の明確な位置づけはありませんが、身近な購買拠点として地産地消推進の役割を担う流通先の一つと認識しています。

**答** 企画課長（喜久山 隆）

数のほうは減少している現状です。福祉的な側面も含めて存続していけるような形で、各課連携を図りながら検討していきたいと考えています。

**質** 公私連携幼保連携型認定子ども園の開園に向けて、地産地消についての話し合いがなされたか伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

地産地消の話し合いはなされていませんが、恩納村地産地消推進計画に基づいて、地産地消を推進していければと考えています。生産者との交流体験を含めた食育が、各保育所、認定子ども園等で、地域の農産物を活用して、健康な食生活を促す取り組みとして重要だと考えています。

観光と文化の融合・伝統文化保存

**質** 尚敬王、万座毛に訪れて300年、村としてイベント計画の話合いはされたか伺う。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

文化財の保存・活用は教育行政の重要な役割の一つであり、郷土の歴史や文化に対する理解を深めることは、大変重要であると認識しています。尚敬王が万座毛に訪れて300年という節目になりますので、万座毛ミニ企画展を実施し、万座毛に関する解説資料等を通して、さらなる万座毛への理解促進に努めたいと考えています。



新城 哲 議員

県道104号線について

**質** 県道104号線の現在の監視体制など、定期的なパトロールの実施状況はどのようになっているのか伺う。

**答** 村民課長（山城達也）  
各種道路等の管理部署と連携して適正管理に努めるとともに、村民課としても環境保全業務の中でのパトロールを実施することにより、不法投棄等の抑制に努めています。とあります。

**答** 建設課長（當山 国博）  
道路管理者である北部土木事務所所管となっています。3日に1回の定期パトロールにて監視を行っており、倒木等による交通阻害が生じた際、天候を問わず速やかに道路管理者へ通報、情報提供を行っている状況です。

子育て支援の充実について

**質** こども園整備により、待機児童の解消、保育の質の向上、子育てと就労の両立支援。どのような具体的な成果を見込んでいるのか。

**答** 福祉課長（石川 司）  
村と民間事業所が連携し、公立の安定性と民間ならではの柔軟性を生かして、地域の待機児童の解消や、多様な子育てニーズに対応した安定的な施設運営の実現を目指します。

**答** 村長（長浜 善巳）  
社会全体で子供を育てる環境整備を推進し、仕事と育児のバランス（ワーク・ライフ・バランス）、保育サービスの充実、男性の育児参加などを通じ、子供の笑顔があふれる社会を目指します。



教育の充実について

**質** 主体的な学びへの転換を図ることですが、その効果検証の方法について伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）  
社会教育課が担う学校支援地域本部においては、学識経験者・学校経験者・社会教育関係者等で組織された学校支援地域本部運営委員会を設置し、学校・家庭・地域の連携協力推進事業を組織的に推進していきます。

**答** 教育長（宜志富 清博）  
学校・家庭・地域・行政・企業が一体となって、子供たちの自律・協働・創造の力を育む3か年計画として推進しており、教育ビジョンの目標である「人生の主体者として幸せに生きる力を育成支援」という理念は3年間で終わるものではありません。恩納村の教育理念として継続・発展させていくつもりです。3年間の成果と課題をしっかりと総括し、次期計画へとつなげていきます。

渋滞と今後の交通対策について

**質** 今後の交通政策の在り方が問われています。恒常的な交通量増加の割合について見解を伺う。

**答** 企画課長（喜久山 隆）

今後の交通戦略については、令和8年度で公共交通計画策定に向けた村内の課題について、恩納村地域公共交通計画検討会議を開催して協議していきたく考えています。

**答** 村長（長浜 善巳）

将来的な道路整備については、県道104号線の拡幅及び瀬良垣以北の片側2車線化、またスマートインターチェンジの設置については、北部12市町村と連携して国や県へ引き続き要望していきたいと考えています。

農業の振興セグロウリミバエについて

**質** セグロウリミバエ等の特殊病害虫の今後の見通しについて認識を伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

セグロウリミバエ工誘殺確認が一定期間ない状況を踏まえて判断するものと推測しています。防除対策としては、市町村段階では定期果実調査及び発生地点での薬剤散布、県では不妊虫放飼を継続して発生密度を検証しながら、より効果的な放飼方法へ引き上げていくこととなります。市町村においては、県と連携しながら住民の皆様へ防除への御理解、御協力をお願いしたいと考えています。



安里 周作 議員

農業振興について

**質** 新たな農村振興基本計画の進捗状況について、検証の結果を踏まえた完成の期日、具体的な数字について伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

検証作業を進めており、第2回策定委員会で、結果を報告する予定です。進捗状況は、委員会に向けて適切に反映できるように調整を進めています。今回の計画は、将来的な農業振興の方向性を示す内容となっており、5年ごとに中間評価を行う予定で改善点があれば見直しをしたい。3月後半に検討委員会の結果を受けて報告書の策定となります。

**質** ゆがみ製糖工場建て替えに伴い、これから5年間のサトウキビの生産量の試算を伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）  
5年間で約1万3,055トンの生産量が見込まれます。

**質** ハーベスター老朽化要因の故障が散見しています。新機種導入の時期と見えます。その補助等が必要と考えるが、当局の考えを伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

ゆがみ製糖工場の建て替えにより安定的な原料供給体制の強化が求められています。そのため、故障状況や修繕費の推移、更新時期を見極めながら、補助事業による新機種導入の必要性について、J Aや関係機関と連携し検討したい。

教育支援センターの設置について

**質** 設置の目的と運営内容を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

義務教育修了後の進学・就労につなぎ、ひきこもりを防ぐことを目的としている。運営主体は、センター長1名で、教員資格等を持った支援員を4名現在想定しています。夏休み期間は開所するとしており、学習活動、体験活動などを想定し、タブレットを使って教科指導、教科学習もできると考えています。

婚姻届について

**質** 村内の婚姻届受理数を伺う。

**答** 村民課長（山城 達也）

令和7年1月から12月の集計で、252件の届出がありました。

**質** 村独自の婚姻届をつくる考えはないか。

**答** 村民課長（山城 達也）

ナビちゃんやサンナちゃんが入った、さんごの村宣言があつて、窓口で請求された際には、書き方と注意が書かれた用紙と正式な様式をセットで渡しています。今回質問があつたので、ホームページに掲載しています。

**提** いろいろなバージョンもつくって、SNS等の手段でプリントアウトできるような方法を取っていただければと思います。

訪問介護閉鎖後の経緯について

**質** 訪問介護閉鎖後の対応で近隣事業所へつなぐとの答弁後の現状を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

12名はほかの事業所へ移行し、5名の方は、デイサービスや配食サービス等を組み合わせる形で継続して生活支援を行っています。

**質** 訪問介護閉鎖対応策によって村内でお世話できるような体制にならないか。

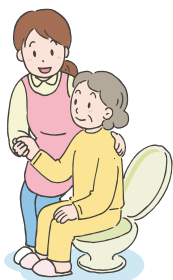
**答** 福祉課長（石川 司）

1月末までに、140万円ほどの助成を事業所に対し行っています。本支援事業実施後、新たに村内の方への訪問介護を引き受けてくれた事業所もありました。

**質** 介護人材育成事業等の資格取得に向けた支援の、具体的な方針はどうなっているか伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

令和8年度では介護職員初任者研修を開催したいと考えています。初任者研修を修了した方は、施設で介護職員として従事するだけではなく、訪問系のサービスでも活躍いただける研修となっております。今回の研修では、15名から20名程度の方が受講をしました。年末には研修を終え、現場で活躍していただきたいと考えています。令和8年度予算に、介護人材育成事業委託として2百65万8千円を計上しています。





宮崎 匠 議員

村内在住の若者における高校卒業後のキャリア支援について

**質** 恩納村が将来にわたり活力ある地域であり続けるためには、若者が「出ていく」ことを止めるのではなく、「戻ってきたくなる環境」を整えることが重要だと考えます。本村として、「若者キャリア実態調査の実施」や、「奨学金返還支援制度の創設」、「Uターン登録制度の創設」、そして「若者キャリア相談窓口の設置」などを総合的に進めるべきであると考えますが、執行部の見解を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

奨学金返還支援制度について、教育委員会では、恩納村奨学金制度の貸与を受けて就学した若年層の奨学金返済の負担を軽減し、若年層の人口の増加及び次世代を担う人材を確保する目的で、

村内に在住し、村内で就労する場合に奨学金の返済を免除するなどの条例措置について、現在検討を始めています。

**答** 定住促進室長（大城 保洋）

「Uターン登録制度の創設」については、村外在住の本村出身者等に対し、求人情報や移住・定住支援施策等を継続的に提供できる有効な手法の一つであると認識しています。若者が「戻ってきたい」と思える環境づくりは重要であり、関係各課が横断的に連携し、可能なものから段階的に取り組んでいく必要があると考えています。

**提** 今後、恩納村としてキャリア支援課を創設していく必要があると思います。

地元の中小企業と地元の学生、卒業生をつなげていくまで行政が取り組んでいくことが必要だと思いますので、このキャリア支援課の新規の設置を御検討いただきました。

村内保育所及びびごども園における紙おむつの無料配布について

**質** 本村が「子育てしやすい村」として

選ばれる自治体となるためにも、村による紙おむつの一括購入による園での常備化、そして保護者の持参不用化を検討するべきだと考えま

す。小さな負担軽減の積み重ねが、子育て世帯の安心感にもつながります。「子育てするなら恩納村と言われる村にしてほしい」とうたされた声に応える施策として、「村内保育所及びびごども園における紙おむつの無料配布」は今後取り組むべき子育て支援の一つだと考えますが、執行部の見解を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

おむつの無償提供については、我々も今後の課題だと思っています。ただ保育所に預けている子たちのみならず、家庭保育も含めて全てのお子さんへの経済的支援も考えてやっていかないとけないと思います。引き続き、子ども・子育て支援の充実を図り、紙おむつの無料配布、以前宮崎議員から質問のあった保育料の完全無償化も含めて、さらなる子育て支援の充実を図り、「子育てするなら恩納村」と評価されるよう進めていきます。

今後、進んでいくと考えられる観光振興による乱開発に対する本村としての指針について

**質** 観光振興は重要ではありますが、そ

れが無秩序な開発、いわゆる乱開発につながるれば本村の魅力そのものを損なうことにもなりかねません。将来世代へ誇れる恩納村を引き継

ぐためには、明確な指針の下で持続可能な観光政策を進めていくことが重要であると考えます。将来、「あのときちゃんとルールを作っておけばよかった」と後悔しないためにも、今こそ明確な開発指針を定めるべき時期に来ていると考えます。開発に対して「恩納村として望ましい姿」を示すガイドライン、あるいは指針の策定は今後検討できないのか伺う。

**答** 企画課長（喜久山 隆）

本村としての指針等を策定するに当たり、やはり現状の把握が必要だと考えています。観光振興計画の見直しと合わせた、整合性を測った指針を示すというところで、それと併せて令和8年度において宿泊事業者の実態把握と、村としてできる対応策というところを関係課と連携して取り組んでいきたい。

**提** 我々、若者世代からすると、「ホテル

ばかりできて住環境が整備されない」という思いが一人一人に根強く残っています。恩納村が帰ってくる場所ではなくなっているのが現状です。そういったことも踏まえて観光振興を具体的に村として示していく。観光振興と住環境、村民の満足度を同時に高めていくような指針を今後、各団体と意見交換を交わしながら明確に定めていきたい。



大城 節子 議員

避難道路について

質

私は仲泊小学校の横断歩道の前で、子供たちの交通安全を見守り続けて20年余になりますが、もし災害、津波が来たらどうなるのか、近くの学校やマグワに避難路が出来たらいいのにといつも考えていました。それで令和4年12月の定例会で初めて仲泊小学校の避難路について質問し、令和5年9月定例会、令和6年6月定例会では4月3日に発生した台湾東部沖を震源とする地震の際、避難道路の重要性を痛感し3度目の質問をしました。令和7年3月定例会では、既存の保育所がある所の水路、そこを活用する方向で進めていますと、答弁されました。4度目の質問をして3年余にもなります。これまでの答弁を踏まえ進捗状況を伺う。

答 総務課長（宮平寛）

施工方法等につきまして地元業者と調整、既存水路及び国道用地の、法面を活用して整備する方向で北部国道事務所とも協議、調整を重ねてまいりました。国道事務所のほうから、国道法面占用許可について、詳細な避難路の設計図面等の関係書類の提出を求められ、令和8年度には詳細設計を基に国道用地の占用許可に向けて今後調整を進めていく予定としています。

質 今回、避難路の測量、設計の委託料として予算が計上されており、3・11の東日本大震災を思うと、避難道路は、一日も早く着手すべき事だと思えます。災害はいつ起こるか分かりません。危機感、スピード感を持って対応していただきたい。完成はいつ頃になるのか伺う。

答 総務課長（宮平寛）

確実な完成はいつと申し上げることができませんが、詳細設計をした上で国道の占用許可を得て早めの工事の着手に向けて取り組んでいきます。

インフルエンザの予防接種について

質 現在0歳から高校生までの医療費は無料ですが、インフルエンザの予

防接種は任意となっております。料金が発生します。インフルエンザは、発熱してから5日間は登校してはいけないと言われており、親御さんも仕事を休まなければなりません。学力にも影響すると思います。そのことも踏まえインフルエンザの予防接種を無料化することは、子育て支援、経済的支援にもつながると思いますが、当局の見解を伺う。

答 健康保険課長（當山香織）

インフルエンザ予防接種の無料化は重要な子育て支援施策であると認識しています。予防と治療の両面から健康支援の意義を周知し、子供たちの健康を守り、保護者の経済的・時間的負担を軽減することは、重要な子育て支援策であると認識しており、本村における効果的な実施方法について方向性を整理したいと考えています。



文化財の整備について

質 令和6年12月定例会で一里塚の木々の剪定について質問しましたが、その後どうなったのか伺う。

答 社会教育課長（仲村泰弘）

仲泊一里塚につきましては、民有地及び字有地が含まれています。字有地部分は字と調整をして、早急に実施できるよう対応していきたいと考えています。民有地部分につきましては、地権者と協議を重ねながら対応していきたいと考えています。

質 一里塚の周辺はすぐ草が生い茂って、近くの人たちが見かねて、きれいに整備してあるが、高さが2階より高いところは台風シーズンにならないうちに剪定してほしいのですが。

答 社会教育課長（仲村泰弘）

夏、秋にかけて台風を迎える季節となりますので、現場も担当職員と一緒に確認し、村有地であればすぐに作業を進め、民有地、字有地については地権者の承諾が必要となりますので、並行しながら進めていきたいと考えています。



比嘉 秀康 議員

## ラーケーション制度の導入と課題

**質** 本村の小中学校において、家庭の旅行等を理由とした休みの年間申請件数は。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

小学校で122人、中学校で34人、合計156人。

**質** ラーケーション制度の導入に向けた検討状況は。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

令和8年度中の導入を検討している。

**質** 学校現場の事務負担が増えてくること懸念される。負担軽減のため、どのような対策を検討しているのか。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

申請の方法をタブレット端末でもできないかを検討して、できるだけ負担軽減につながるような手続きにしたいと考えている。

**質** 年間5日程度まで取得できるように、日数の拡充を検討できないか。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

まずは導入から進めていきたい。その上で、いろんな声があった場合に、期間の延長は必要に応じて検討していく。

## 外国人児童生徒の受け入れ体制

**質** 日本語指導が必要な児童生徒に対して、どのような支援体制を整えているのか。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

現在、恩納小学校において日本語指導体制を構築しており、複数の支援を組み合わせた体制を整えている。具体的には、県費負担による日本語指導教諭2名を配置、恩納村独自の取り組みとして日本語指導教室補助員2名を配置し、日本語習得段階に応じた指導を行っている。さらに、令和7年度からはOISTの教育サポートスタッフ1名が配置されています。児童への学習支援に加えて、保護者に対する日本の教育制度や生活習慣に関する支援も行っており、学校と連携して支援体制の充実を図っている。

**質** 日本語指導が必要な児童生徒の人数と、その年次推移について、増加傾向にあるのか、今後の見通しも含めて。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

令和7年度における日本語指導が必要な児童数は47人で、令和3年度の26人から、約1.8倍に増加しています。総児童数に占める割合も年々高まっており、特に令和7年度においては、総児童数に対する外国籍児童の割合が約28%に達しており、日本語指導の重要性はますます高まっている状況です。

**質** 大型ホテルの開業により、外国人労働者とその家族の転入が増えることが予想される。その際、学校現場の負担増や支援体制の不足が生じないよう教育委員会としてどのような準備や強化策を検討しているのか。今後の方針は。

**答** 学校教育課長（親泊誠）

県への加配教諭の要望なども継続していきながら、状況に応じ関係機関と連携し、受入れ体制強化を図る必要があると考えている。

## 歴史の道「国頭方西海道」の維持管理体制の強化

**質** 日常的な点検や清掃、保守など、どのような体制で管理しているのか。

**答** 社会教育課長（仲村泰弘）

草刈り等の維持管理につきましては民間業者に委託しており、年6回実施をしている。

**質** 安全確保や不法投棄への対応状況について。歩道の危険箇所の点検頻度、不法投棄の発生状況と対応方法は。

**答** 社会教育課長（仲村泰弘）

不定期ではあるが巡回パトロールを実施し、危険箇所の確認や安全対策など状況に応じ対応を行っている。不法投棄があった際には担当課と連携し、対応している。

**質** 現在設置されている案内看板や解説板の数そして老朽化に伴う更新計画の有無について。観光客や地域住民が安心して利用できる環境整備の観点から、現状と今後の方針は。

**答** 社会教育課長（仲村泰弘）

合計17基の案内・解説板が設置されており、順次修繕している。将来的な改修や内容更新についても、必要に応じて検討する。

**質** より分かりやすい情報提供のため、QRコードを活用したデジタル案内の導入を検討できないか。

**答** 社会教育課長（仲村泰弘）

様々な来訪者に向け分かりやすく情報を提供することは重要である。QRコードを活用した案内板の導入は検討を進めていきたい。



稲村 雅司 議員

畑地かんがい整備の現状について

**質** 整備の効果、未整備地域からの要望の有無、調査状況と調査の報告は。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

整備の効果として、安定した農業用水の確保、作物の収量や品質の向上、農作業の省力化、高収益作物への転換が可能、農家の所得向上が見込まれる。未整備の一部地域において、整備を求める要望が寄せられている。調査については、未整備地域の可能性調査を実施し、一定の水量が確認された地区もある一方で、水源確保のための建設費や完成後の維持管理費が割高となることが想定される地区もあった。調査未実施の地域から要望があれば、引き続き調査を実施したい。調査結果は、関係する行政区へ4月以降に説明を行う予定。

**質** 整備に向けた今後の工程は。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

地域の合意形成が前提でそのうえで事業採択に向けて概略設計、事業計画の策定、国・県との協議、採択申請、詳細設計、工事着手の流れを想定している。

鳥獣対策実施隊の持続可能な体制づくりについて

**質** 隊員の構成、規定は。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

令和8年2月末時点で村内4名、村外10名の14名となっている。年齢は、20代2名、30代2名、40代1名、50代2名、60代3名、70代4名。実施隊の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日まで、再任は妨げない。隊員の中でも活動が低迷している方は、継続、除隊も含めて、本人の状況や意向も確認した上で、入れ替えを行うなど体制の強化を図っている。

**質** 新規参入や育成のための研修制度は。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

県または村での許可を受けて「一般捕獲許可者」となれば、最長1年、許可者が認める捕獲範囲内であれば通年捕獲が可能となり、鳥獣被害対策への新規参

入者の受け皿になると考えている。現在、一般捕獲者は12名、村実施隊と併せて合計26名で対策を行える状況となっている。一般捕獲者に対して、将来的な実施隊加入の意向があるか意向確認調査を行いたい。現時点で若手育成のための村独自の研修は実施していない。

**質** 研修制度の考えは。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

カラスの捕獲、追い払い活動に関しては、日程を決めた上での活動であるため、今後は新規参入者の体験を受け入れるとして、活用できるように検討したいと考えている。

**質** 制度の見直しに関しては。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

一概に対策人数の増加、世代交代を図ることが効果的な鳥獣捕獲や農作物の被害軽減につながることはないことから、今後の被害状況を踏まえて制度の見直しを検討したいと考えている。

通学時の防犯体制の強化について

**質** 通学路やバス停など、児童生徒が日常的に利用する場所への防犯カメラ設置は。

**答** 総務課長（宮平 寛）

プライバシー保護の観点も踏まえながら、設置箇所の優先度・管理体制・財源確保等について、警察や関係機関、自治会とも連携しながら検討して進めていきたいと考えている。

**質** 防犯指導の取り組みは。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

「怖いと感じたらすぐに逃げて大人に知らせる」という基本行動を、全児童生徒に繰り返し指導していくとともに、学校・家庭・地域・警察が一体となって児童生徒の安全確保に努めていく。地域の皆様の御協力により、登校時の見守り活動に取り組んでいただいている。児童生徒の安全確保の大きな取り組みだと感じている。

**提** 防犯カメラや街灯などの設備の強化と教育でできる対策を強く進めていただきたい。





大城 保 議員

学校給食について

**質** 学校給食の月単価、1食当たり。その金額で国の基準、栄養、バランスのとれた食材になっているのか伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

月額5,000円（日額280円）、中学生は月額5,500円（日額305円）となっております。栄養教諭において、献立を立てて児童生徒に栄養バランスのとれた給食が供給できていると認識しています。

**質** 来年度から公立小学校給食費の無償化が全国一律で実施される。単純計算で3,200万円予算が浮く。

浮いた予算は、子供たちのために使ってほしい。用途を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

物価高騰の影響を受けて、次年度給

食費の改定を行う予定です。そこで充実化させていきたい。

**質** 食物アレルギーのある児童生徒の把握はどのように行っているのか伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

学校に依頼して、「学年・氏名・アレルギー食品・症状・対応・エピソード」所持の有無の提出をお願いします。

**質** アレルギー体質のある児童生徒はいたのか、対策はどのように行っているか。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

小学校は51人、中学校27人、合計で78人となっております。対応については文部科学省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」にて対応し、給食に入っているアレルギー物質のものを除きながら、給食を喫食していると確認しています。

**質** 学校、教職員の対応について伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

平成23年度に「学校給食における食物アレルギー対応について」というマニュアルを作成し、これに基づいて対応できるものと認識しています。

前兼久漁港観光関連施設について

**質** ゲート式からゲートレス式に変わった経緯について伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

当初は、ゲート式の導入を検討していましたが、円滑な通行の確保や渋滞の抑制に加え、機械設備の簡素化による維持管理負担の軽減が期待できることから、本方式の採用を予定しています。

**質** ゲート式にしたなら、未払いが100%起らない、レンタカーや外国の方の利用率も高い、未払いが懸念される。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

回収方法については、今後レンタカー業者、また保守管理者と対策を進めていきたい。

**質** 村民の公園利用者の駐車場料金の取扱いについて伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

村内の子育て世帯の利用が見込まれることから、一定時間の無料措置の検討が必要と考えています。

**質** 今回村が導入する方式「車番チケットレス」と「ゲート式チケットレス」

ス、車の通行や支払いの件で、両方比べても遜色ない。再検討できないか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

今回検討している方式に関しては、保守管理者において督促通知、収納管理業務は問題ないように進めていきたい。

**質** 施設の管理体制と指定管理に向けた組織づくりについて伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

有料駐車場は保守管理者に委託、管理棟の人員の雇用に関しては会計年度任用職での活用も含めて関係機関と調整して進めたい。指定管理者制度への移行については、一定期間、村直営による管理・運営を行い、その間に管理コストや必要人員、収支の見直しなどを明確に整理したうえで、三行政区を主体とし、地域にとって無理のない形で指定管理への移行を図りたい。





大城 堅三 議員

住環境の整備について

**質** 恩納村民間賃貸住宅建設助成事業補助金について伺う。

**答** 定住促進室長（大城 保洋）

本村は、ファミリー向け賃貸住宅の供給が不足し、定住促進の大きな障壁となっています。定住人口の増加を図るため、民間活力を活用した賃貸住宅の供給促進が急務であることから、建設費用の一部を助成する制度を創設し、8年度より取り組みたい。

**質** 全国の自治体を参考にしての予算組みなのか。

**答** 定住促進室長（大城 保洋）

全国で民間賃貸借の支援をやっているところもあり、また嘉手納町でも取得に関しての補助金の活用もやっています、そこを参考に支援金額と上限額等も踏まえて検討してきました。

**質** 恩納村三世代同居支援事業補助金について事業の目的は。

**答** 定住促進室長（大城 保洋）

本村での人口減少及び少子高齢化の進行は、地域コミュニティの担い手不足や地域活力の低下が課題となっている。村外で生活している子育て世帯のUターンを促進するとともに、世代間の支え合いによる子育て環境の充実と高齢者の見守り体制の強化を図るため創設し、8年度より取り組みたい。

住民自治の推進について

**質** 各行政区が実施する事業、環境整備等と防災事業整備が、各行政区均等に予算が執行されているか。

**答** 建設課長（當山 国博）

1行政区、工事費の10分の7以内、限度額400万円以内の補助で毎年区長会のほうで選定した行政区が補助を受けて、事業を行っている状況で議員ご指摘の400万円の限度を上げてほしいとか、全額補助してほしいという議論があり、昨年の6月「区長会のほうでも議論してもらえませんか」ということで聞いています。状況を見て判断していきたい。

**質** コミュニティ助成事業制度の予算、現在の状況は。

**答** 総務課長（宮平 寛）

希望ヶ丘自治会を対象とし自主的に実施する地域コミュニティ活動に要する経費として、財源が厳しい自治会に対して実施している事業内容です。

**質** 行政区でコミュニティ整備事業に関する予算申請があれば、幅広く柔軟な考えは。

**答** 総務課長（宮平 寛）

助成事業は財政が厳しい自治会に対し交付しています。現在、仲泊区、前兼久、富着、谷茶に交付している行政区財政交付金を参考にして活用し実施しているの、現時点でこの4行政区に対しては、措置はしているところで理解しています。

財政基盤の強化について

**質** 村行政運営補助金交付が決定した経緯を伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛）

行政運営補助金は軍用地料等で、一般世帯3万円に足りない4区対象に、総世帯数に3万円を乗じ、均等割り20%、世帯割り80%に案分し、現在交付されている分収金を差し引いて交付するところと、覚書を根拠としています。同交付金の決定は、軍用地所在交付金のない、または少ない行政区に地域活動推進のため交付されていると認識しています。

**質** 何年頃から予算執行されたか。

**答** 総務課長（宮平 寛）

行政運営補助金につきましては、1969年、昭和44年頃の資料が残っています。

**質** 当時の財政状況、社会情勢、そして現在の社会情勢を見たとき、運営補助金交付額、執行部はどのような考えか。

**答** 総務課長（宮平 寛）

当時の社会状況の変化を踏まえて、今ものが適正かどうかというところはありませんが、村として各行政区の財政状況は把握していないので、現時点で評価は難しいです。今後を含めてその制度改正は予定していません。

**質** 現在の軍用地所在区交付金、行政区と村の配分割合は。

**答** 総務課長（宮平 寛）

現在は村のほうが65%、行政区のほうが35%です。

**質** 交付金の割合が決定した経緯を伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛）

割合が決定した経緯は、平成8年の当時の村長、議会議長の覚書を根拠としています。この割合については昭和62年の覚書からしか、確認できていませんので、その以前の状況は詳しく調査はできていません。

**質** キャンプ・ハンセン所在の金武町、宜野座村の交付金の割合は。

**答** 総務課長（宮平 寛）

金武町は、町と行政区のほうで5対5、宜野座村は、村と行政区のほうで6対4ということ聞いています。



島袋 裕介 議員

### 公園の維持管理について

質 どのように行っているか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

恩納村多目的広場の清掃は週1回、草刈りは年6回実施。前兼久漁港観光関連施設、遊具等緑地広場は、トイレを含め毎日清掃を行い、草刈りは年4回実施。遊具の点検・保守は、年1回の定期点検を専門業者へ委託しています。

質 公園内に多言語の看板設置はできないか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

今後、看板の設置を進めていきたいと考えています。

質 村管理の公園、ネーミングライツを公募するなり、名称を設定できないか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

条例上の位置づけも踏まえながら、今後検討したい。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

ネーミングライツ導入の可能性について、調査・研究していきたい。

### 子育て支援について

質 保育所・認定こども園や学童クラブの量的な確保はできているか。

答 福祉課長（石川 司）

子育て支援施設（保育所・認定こども園・学童クラブ等）においての「量」の確保は整備されていると理解しています。課題は、保育士や学童支援員の人材確保も含めた資格取得支援も考えていかなければと考えています。

質 育児休業中の負担軽減のために時短保育を通常保育にできないか。

答 福祉課長（石川 司）

一律での標準時間設定を行うこととなると、保育現場とのすり合わせと保育士の確保、ソフト調整が必要となることから、各園との綿密な調整が必要と考えます。

質 「いつでも誰でも通園制度」は月10時間となっていますが、時間拡充の計画が村独自でないか。

答 福祉課長（石川 司）

実施施設は、公立の安富祖こども園・山田保育所となっています。時間の拡充計画は行っていません。

質 保育料の完全無償化について少子化が進む中、最重要課題と思うが、当局の考えを伺う。

答 福祉課長（石川 司）

完全無償化の方向で進めていきたいと考えていますが、恒久的財源が確保されていないため様々な子育て支援策を講じて、全ての子どもを対象に持続可能な子育て世帯の経済的支援を推進していきます。

質 完全無償化には、年間1,700万円が必要と伺っていますが、中学校の学校給食費半額支援として県からの補助金が637万4,000円。また国から小学校給食費負担軽減交付金3,432万円。国・県の補助金で浮いた財源を活用して完全保育の無償化としての財源に充てることはできないか。

答 村長（長浜 善巳）

多種多様な保護者のニーズを把握して、優先順位も考えながら検討したい。

### 居場所づくりについて

質 空き教室を活用して、放課後子ども教室の提供をできないか。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

保護者や地域のニーズの把握に努め、関係課や学校、地域の皆様と連携を図りながら調査・研究を進めていきたい。

質 空き教室を全天候型の遊び場として、村内の子育て支援の拠点にできないか。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

現在ある施設を最大限活用しながら子育て支援に向けて取り組んでいきたい。

### 防災行政について

質 防災士資格支援、取得者は何名いますか。

答 総務課長（宮平 寛）

補助金を活用して令和6年度4名、令和7年度が2名で、計6名です。

質 災害派遣に取得者も派遣できないか。

答 総務課長（宮平 寛）

災害派遣依頼となると、保険等また慎重に検討する必要があると思います。災害ボランティアの登録と情報提供は積極的にやっていきたいと考えています。



日々の暮らしで感じたことや「こうなったらいいな」という思いを、  
気軽にお寄せください。



## 海を大切に思う村民の方からのご意見

- ①恩納村の海は、私たちにとって大切な宝物です。ただ最近は観光客が増え、ビーチの混雑やごみが残る場面もあり、少し心配になることがあります。だからこそ、みんなが気持ちよく海を利用できるルールづくりや環境を守る取り組みをもっと進めてもらえるとうれしいです。未来の子どもたちのためにも、美しい海を守り続けてほしいと思います。
- ②かつて富着の海浜は村の予算により地域の人が清掃し、きれいな海浜であったが、その予算もなくなり、現在は雑草が生えペットボトルや漂着物などで汚れ、観光客が見たらどのように感じているか気になります。一度現地に足を運んで現状を見てほしい。

## 防犯に関するご意見

物騒な世の中、村内のバス停および子どもたちの通学路に防犯カメラを設置してほしい。

## 学びを村のチカラに!! ～議会議員・事務局職員研修会～



### ～町村議会議員・事務局職員研修会～

- ◆日時 令和8年2月26日(木)午後1時30分～午後4時45分
- 演題:①『市町村行財政等の状況及び地方統一選挙について』  
講師:沖縄県市町村課長
- 演題:②『沖縄の子こそ東大を目指すべき』  
講師:木村達哉氏(NPOおきなわ学びのネットワーク理事)
- ◆場所 南風原町中央公民館



### ～令和7年度北部市町村議会議員・事務局職員研修会及びスポーツ・レク大会～

- ◆目的・・・議会の円滑な運営と地方自治の振興発展を図ることを目的に研修会を開催する。議会議員及び事務局職員の健康増進と親睦を図ることを目的にスポーツ・レクを開催する。
- ◆日時 令和8年2月19日(木)
- 講演会(13:00～14:00)  
場所:名桜大学学生会館SAKURAUM 3階大講義室(名護市為又1220-1)  
講師:前川美紀子(名桜大学 地域連携機構長)  
テーマ:地域連携の取り組みについて
- スポーツ・レク大会及び名護市内巡見(14:30～)  
※2グループに分かれて交互にボウリングと市内巡見を実施。  
(1)市内巡見コース(①名護市一般廃棄物処理施設)  
(2)スポーツ・レク大会・・・場所/名桜ボウル(名護市字茂佐1703-8) 内容/ボウリング





# 議会の動き

## 1月

- 4日 令和8年恩納村二十歳を祝う集い 議長・議員
- 6日 令和8年恩納村民新年祝賀会 議長・議員
- 13日 令和8年恩納村観光協会 新年会 議長  
川崎フロンターレ歓迎セレモニー 議長
- 14日 議会広報委員会
- 17日 令和8年消防出初め式 議長・議員
- 21日 議会広報委員会
- 23日 国・県出先機関の長及び関係団体等と 議長  
北部市町村との新年会
- 24日 恩納村産業まつり 議長・議員  
杜の賑い沖縄 議長
- 26日 議会運営委員会
- 28日 「恩納村教育の日」関連行事 議長  
議会広報研修会
- 29日 第1回臨時会  
総務財政文教委員会  
伊武部希望ヶ丘自治会の人件費に関する陳情審査特別委員会
- 31日 生年合同祝賀会(仲泊区) 議長

## 2月

- 4日 議会広報委員会
- 8日 第35回「琉歌大賞」表彰式 議長
- 12日 韓国三星ライオンズ歓迎セレモニー 議長  
議会広報委員会  
伊武部希望ヶ丘自治会の人件費に関する陳情審査特別委員会
- 19日 北部市町村議会議員・事務局 議長・議員  
研修会及びスポーツ・レク大会
- 21日 令和7年度第33回恩納村文化展 議長・議員  
及び生涯学習等成果発表展
- 22日 祝 松田英吉氏 現代の名工受賞祝賀会 議長・議員
- 23日 「うんなアカデミー」成果発表会 議長・議員
- 24日 第55回沖縄県町村議会議長会定期総会 議長
- 26日 町村議会議員・職員研修会 議長
- 27日 沖縄科学技術大学院大学学位記授与式 議長・議員  
北部広域市町村圏事務組合議会第67回定例会 議長

## 3月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 恩納村オーリーブこども園お披露目会 議長・議員
- 4日 第2回3月定例会(開会)
- 5日 総務財政文教委員会  
経済建設民生委員会
- 6日 現地踏査
- 7日 うんな中学校卒業式 議長
- 9日 議会運営委員会  
総務財政文教委員会  
経済建設民生委員会
- 10日 本会議
- 11日 本会議(一般質問5人)
- 12日 本会議(一般質問5人)
- 13日 本会議(一般質問4人)
- 14日 谷茶地区定住促進事業用地造成工事(起工式) 議長・議員  
レジャー安全祈願及び船舶航行安全祈願祭 議長
- 16日 予算特別委員会
- 17日 予算特別委員会
- 18日 第2回3月定例会  
村内小学校卒業式 議長・議員
- 19日 議会運営委員会  
総務財政文教委員会  
予算特別委員会  
伊武部希望ヶ丘自治会の人件費に関する陳情審査特別委員会
- 21日 沖縄県軟式野球男女交流大会(懇親会) 議長
- 23日 本会議
- 24日 議会運営委員会  
予算特別委員会  
広報委員会
- 25日 定例会閉会  
総務財政文教委員会
- 27日 うんなまつり実行委員会臨時総会・ 議長  
恩納村心豊かなふるさとづくり推進協議会総会
- 30日 海の安全祈願祭 議長・議員
- 31日 退職者辞令交付式 議長



議長挨拶 島袋 裕介

本定例会は、3月8日から本日までの22日間にわたり開催され、条例案や補正予算案、新年度予算案をはじめとする多くの重要案件について慎重に審議してまいりました。議員各位におかれましては、高い問題意識と議会のチェック機能を十分に発揮され、熱心に議論を尽くされた結果、すべての議案について本日、審議を終えることができましたことに、深く敬意を表します。

また、一般質問では、14名の議員が日頃の政務活動や調査研究の成果を踏まえ、村民の声を反映した提案や質疑が行われました。その真摯な姿勢に対し、議長として改めて敬意を表する次第であります。当局の皆様におかれましては、本定例会で成立した議案の執行にあたり、議員からの指摘や意見、提言等を真摯に受け止め、村民生活の向上に向けて着実に取り組んでいただきますようお願いいたします。

また、村長におかれましては、施政方針に掲げられた施策の実現に向け、村民の視点に立った村政運営に取り組まれることを期待しております。議会としても、三元代表制のもとで議論を深め、安心して暮らせる村づくりに引き続き努めてまいります。村職員の皆様におかれましては、これまでの各課におけるご尽力に敬意を表するとともに、議会運営にご協力いただきましたことに、議会を代表して感謝申し上げます。今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

最後に、議会運営にご理解とご協力を賜っております村民の皆様にご心より感謝申し上げます。議長挨拶といたします。